

平成24年度
実施事業

事務事業名 障害者等生活支援経費

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障がい者福祉の確立
小分類	2	障がい者（児）の自立支援
主要な施策	1	①生活支援の充実
事務事業番号	034	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別

部 名 市民生活部 グループ名 環境対策室環境対策グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	対象となる世帯に対し、家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料の一部を助成することにより、地域生活での経済的負担を軽減し、もって障がい者福祉の向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	市内に居住する障がい者（身体障がい者1・2級、知的障がい者、精身障がい者1・2級）在宅世帯及び65歳以上ねたきり老人在宅世帯に対して、家庭系指定ごみ袋30ℓ用20枚を交付するほか、し尿汲み取り世帯に対しては、し尿処理無料券1枚を交付する。 【事業内容】（平成25年3月31日現在） ・交付見込世帯数 765件 ごみ袋 14,825枚 し尿処理無料券 109枚
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	障がい者世帯の経済的負担を軽減するため、本年度も引き続き、ごみ袋及びし尿処理無料券を交付する。なお、すでに制度実施から12年が経過しているが、平成24年度中に障がい者団体と協議したところ、本事業を廃止する場合には代替案を示されなければ納得出来ないとして、強硬な反対があったところである。また、本事業を廃止することは、障害福祉施策の後退にも繋がるものと考えられることから、継続することとしたい。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市家庭系指定ごみ袋及びし尿処理手数料助成制度実施要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	949	934	1,013	1,013	1,013
事業費 合計			949	934	1,013	1,013	1,013

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 指定ごみ袋交付枚数	枚	目標値	16,000	14,815	15,600	15,600	15,600
			実績値	14,634	14,825			
	② し尿処理無料券交付枚数	枚	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	109	109			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
平成19年度指定ごみ袋交付枚数：13,080枚 平成20年度指定ごみ袋交付枚数：14,140枚 平成21年度指定ごみ袋交付枚数：13,880枚 平成22年度指定ごみ袋交付枚数：14,019枚 平成23年度指定ごみ袋交付枚数：14,634枚	平成24年度指定ごみ袋交付枚数：14,825枚 交付枚数は増加傾向にある。助成対象者への経済的支援は拡大している。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 民間等で類似した事業もなく、また民間で行う可能性も少ないため、行政主体で進める事業である。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 平成22年度に、登別市障害福祉関係団体連絡協議会より、助成対象の拡大の要望があったことなどから、必要性の高い事業であると考えられる。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 家庭系指定ごみ袋は安価ながらもどの世帯にも需要があり、低予算で高い効果をあげている。また、1度に1年分交付するため、少労力である。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 指定ごみ袋交付枚数は、年々増加している。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	助成対象が障害者在宅世帯及び65歳以上寝たきり老人世帯であることから、対象の経済的支援として必要な事業と考えている。 なお、本事業は福祉施策の一つと考えられるので、所管替えを検討する。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)